



承天寺通信

令和5年(2023)正月 VOL.7

発行者 承天寺

忍野村内野192 0555-84-2356



頌春

令和五年 正月

「暁光朝焼け」 承天寺鐘楼



承天寺住職 船場 正譲

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

承天寺檀信徒の皆様方には無事に令和五年の新春をお迎えになられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、修復され新たな装いとなった山門と共に新年を迎えることができ誠に有難く存じ上げます。

新型コロナウイルスの影響により、社会全体が自粛を余儀なくされておりましたが、ワクチンの普及や皆様の辛抱のお陰をもちまして、少しずつでは御座いますが以前の生活が戻りつつあるように感じます。承天寺も感染者の推移などを鑑みつつ、形を少しずつ変えながらではあります。春の彼岸に始まり、お盆の諸行事、山門落慶、檀信徒総会、本山妙心寺に於いて行われたご詠歌全国大会、薬師講のお参りと団体参拝、年末の除夜の鐘。行事を執り行う事ができる有難さを感じた一年で御座いました。これも皆様一人ひとりのご理解とご協力を頂きました結果だと存じております。本年の承天寺は新たな総代を迎えましての運営となります。益々の発展を目指し、精進して行く所存でございます。 合掌



檀信徒総代長 湯山 迪男

夢と希望に輝く新春を迎えられましておめでとうございます。昨年は山門の修復工事が完了、併せて舗装した駐車場の整備も成って承天寺がよりよくな落ち着きと風格を取り戻しました。

そして、檀信徒総会に於いて改選があり、才なき私が総代長を担当させて頂いたこととなりました。

住職をはじめ役員一同ここを一つにして、本年もこれらの伽藍を護り、地域の発展と安泰に役立つよう精一杯精進してまいる所存でございます。かわらぬご理解と特段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年も宜しく

お願いいたします

承天寺役員一同

総代長 湯山 迪男
総代 小山田 一夫

世話人 櫻井 隆彰
櫻井 清吉
天野 常寿
小山田 喜久
川口 一郎
小林 茂幸
柏木 陽典
須山 公憲
渡辺 孝之
渡辺 斗男
中野 正美
湯山 修司
櫻井 主久
渡辺 省吉
渡辺 清七
渡辺 亜聖
田辺 明治
米山 喜一郎
三浦 友一
羽田 良夫
渡辺 広人
渡辺 哲夫

顧問



7/24 動物総供養 開催

家族同様にペットと楽しい日々を送り、可愛がり、そして癒された時を振り返る。その思い出は限りなく、当日は在りし日のペットを偲び、家族が線香を手向けておりました。

盆供養が行われました

8/7 新盆供養・樹木葬合同供養 開催

8月7日は10時から新盆供養。11時から樹木葬合同供養が行われた。夫々本堂での法要には故人を偲び、約40数名の家族・親族が参列して厳粛のうちに読経と焼香が行われ、終了後は墓参りをして故人のご冥福を祈っておりました。また8/14～8/16の盆の棚経につきましては、諸般の事情により各家庭訪問は無く、14日からの三日間6時・10時・13時から、本堂にて追善供養を行いました。お参りに訪れる方々の時間帯は日々多少の偏りはありませんでしたが、比較的午前中が多く、コロナ禍であっても多くの家庭では、墓参りなど、ご先祖の供養を大切に行っている事を感じました。



※ 各供養・催事はコロナウイルス感染防止の為、消毒・マスク着用・通気・席の間隔等に十分配慮して実施した

8/8 ご詠歌合同奉詠会開催 承天寺「承詠会」

承天寺の法要などにご詠歌奉詠を務めて戴く「承詠会」（植村流沙会長）は、天台宗 東圓寺ご詠歌愛好会の皆さんと東圓寺本堂にて、地域初の合同奉詠会を開催した。これまで相互の寺で2回練習会を重ね、後は自己練習により本番に臨む。合同奉詠の課題曲は、盆に因む「精霊まつり和讃」で、初めての曲だけに皆緊張した様子でしたが、鉦と鈴は良く揃っており、声も大きく、更に相手組ともリズムはしっかり揃い、初の合同奉詠とはとても思えない素晴らしい詠唱で堂内は盛り上がり、当寺を訪れた皆さまから絶賛を戴いた。



8/23 山門修築 落慶法要 挙行

早朝から新装なった山門の周囲をお手伝いの和尚さんが忙しそうに出入りする。心配された天気は終日曇りの予報。この度の落慶法要は、山門の被災事由等により規模縮小で行う予定が、寺院関係だけでも約40名、承天寺役員と業者等を含めると80名を越す規模になった。



9時55分、法鼓出頭合図の太鼓が響き、既に寺役員と一部の関係者は山門前に着席。間もなく本日の導師、無底窟老大師が厳かに入場して開式され、未来永劫、地域と承天寺の護持安寧を祈念した

またこの度退任される田邊総代長と米山総代に、大本山妙心寺管長猊下の表彰と、山門修築業者の石川工務所に対して承天寺からの感謝状が贈られた。この後、門前で参加者の記念撮影を行い、本堂に移り、方丈茶礼を行い無事円成した。



9/18 檀徒総会 開催



総会開会にあたり、秋彼岸供養が執り行われ、引き続き檀徒総会を開催した。田邊総代長の挨拶の後、配布資料を基に令和3年度の事業報告、収支決算報告並びに令和4年度の事業計画と予算の報告がされた。また、役員（総代）改選期に

伴い、総代長 湯山 迪男、副総代長 小山田 一夫（新）、総代 櫻井 隆彰、総代 柏木 清吉（新）各氏の選任報告がされ檀徒総会を閉会した。総会閉会后、世界をネタにける落語家 桂歌蔵師匠による落語公演を行った。寺での落語公演は2回目となりますが、演目の中で印象的だったのは、モンゴルを題材にしたもので、私たちにとって未知の国でもあり、想像することすら難しく感じていましたが、聴き進むうち師匠の絶妙な間の取り方や語り掛けに引き込まれ、その余韻は今もモンゴルの大自然や国民性を容易に想像することが出来るひと時でした。



※ 各供養・催事はコロナウイルス感染防止の為、消毒・マスク着用・通気・席の間隔等に十分配慮して実施した

10/2 2022 jazz in 忍vi野(しのびの) 開催



「2022 jazz in 忍vi野」が10月2日、日曜日に承天寺で開かれた。

これは「忍vi野ビレッジ実行委員会（代表米山正利）」が主催し、お寺の本堂で本格的なプロのジャズを堪能しようと企画したもの。2020年に初めて行われ、コロナ禍により2021年は中止、ようやく今年2年ぶりに開かれた。当日は、前週、前々週の2度の台風のうち憤を晴らすような秋晴れのすがすがしい天候の中、本堂いっぱいの観客が参加、ジャズといっても堅苦しいものではなく、おなじみのSmileやシェルブールの雨傘等16曲が披露された。アーティストは、トリオの中心的存在であり軽妙なトークで進行を支えたドラムス「長谷川清司氏」、姿勢がよく角田健一ビッグバンドのピアノ奏者でもある「板垣光弘氏」、ちょっとふとちょなベース奏者「ジャンボ鈴木氏」の3名である。このような小さな街でプロ奏者による一流のジャズを①気軽に②生で、しかも③目の前で、さらに④安価（お茶付きで2千円）で聞けることは、大変貴重なことであり、ジャズを知らない人でも十分楽しめるひと時であったと思う。なお今回特に Jyo-ten-ji（承天寺）と題する曲目（長谷川氏作曲）も披露された。来年も開催される予定とのことなので、ぜひプロの生演奏の迫力を感じてみてはどうか。

10/30 薬師講中斎開催

深まる秋に木々のいろどりも赤や黄色に色づきを増したこの日、村長をはじめ、地区選出議員、区長、消防団第一分団等各種団体、またお薬師講の皆さん、責任役員・世話人、大勢の出席をいただきお薬師さまの祭りが行われました。住職の読経、講和があり、総代長のあいさつ、ご来賓の祝辞を頂戴した後、参加者全員でお薬師さまのご真言（御仏の働きを表す呪文）『オン コロコロ センダリ マトウギ ソワカ』と唱えながら大数珠回し（3周）を行いました。このご真言について、おおよそ「帰依し奉る、病魔を除きたまえ祓いたまえ、センダリやマトウギの福の神を動かしたまえ、薬師仏よ」と説かれておりました。また、病気を治すのは、私たちの体内にある自然治癒力が肝心で、「病は気から」とも言います。治すという「気力」をバックアップしてくれるのが、お薬師さまです。



12/6～12/7 薬師講役員研修旅行実施



薬師講役員の多くの要望により11月中旬に入っの急な立案でしたが、当初はコロナ感染の諸制限も無く、旅行準備を進めた。その後県内では、コロナ感染者が前週を上回る日が暫く続いたり、併せて老人クラブのゲートボール大会との日程重複が判明し、参加者は激減したが、住職や役員の熱心な誘客により、最終的に16名での催行となった。出発の朝は雲間の忍野富士に見送られ、両日とも上天気。久しぶりのバスの旅に車窓の景色と、持寄った自慢の品々に皆の顔は綻んでいた。見学は、世界に誇るノーベル生理学・医学賞受賞者の

大村智博士の大村美術館（韮崎市）や、懐かしの昇仙峡、地場産業センター他を巡り、甲府の臨済宗「円光院」参拝では、副住職の法話を拝聴し、洗心のひと時を体験した。夜は開湯から61年を迎えたという、石和温泉に久々に浸かり、山梨の素晴らしさを堪能。皆が喜ぶ有意義な旅でした。

承天寺豆知識

承天寺の移転 承天寺が現在の場所に移転してきたのは、寛政7年（1795年）のことである。以前は内野浅間神社の東側（小字宮の脇）にあった。これを証する石碑が宮の脇の渡辺輝喜家一統旧墓地内に今でも現存する（写真参照）。「古寺中有縁無縁霊等（塔） 神田引移焉了 章鳳代」と刻まれており、章鳳住職により新しい新田へ引っ越したことが書かれている。なお現在の境内墓地内の僧侶の墓群内にも同様の石碑が刻まれている。（忍野村誌増補版第二巻286頁、289頁、1069頁から引用）



移転を証する石碑



旧承天寺の所在地
（内野浅間神社東側）

行事予定

- 3月 彼岸中日・戦没者慰霊祭
- 4月 花まつり
- 6月 聞き耳地藏尊供養
- 7月 動物総供養
- 8月 お盆行事
- 9月 彼岸中日・檀徒総会
- 10月 お薬師さまお祭り
- 12月 除夜の鐘撞き

（諸般の事由により期日など 変更する場合があります）

令和5年 年忌表

一周忌	令和4年	2022年
三回忌	令和3年	2021年
七回忌	平成29年	2017年
十三回忌	平成23年	2011年
十七回忌	平成19年	2007年
二十三回忌	平成13年	2001年
二十七回忌	平成9年	1997年
三十三回忌	平成3年	1991年
三十七回忌	昭和62年	1987年
五十回忌	昭和49年	1974年

編集後記

新しい年を迎え如何お過ごしでしょうか？
コロナで多くの行事が中止や延期され、承天寺の活動をお知らせするため「承天寺通信」を発行した経緯があります。これからは相互のコミュニティ広場として前進していきたいと思ひます。本堂には広報紙に掲載できなかった、山門修復工事の解体から組立までの写真パネルを展示しております。是非ご覧になっていただきたいと存じます。今年は卯年「癸（みずのと）卯（う）」兔のように飛び跳ね躍動的ななかでも穏やかな年になることをご祈念申し上げます。山門をくぐりお参りにお出かけください。（T・S）

心の安らぎ そして健康保持…
一緒に御詠歌を楽しみませんか



会員の皆さんは 10月開催予定の
京都本山大会に向け練習に励んでいます
練習会は 月一度 本堂にて行っています

じょうえいかい 承天寺「承詠会」 会員募集中!

「承詠会」は 承天寺が主宰する御詠歌の会です。

会員は御詠歌を習い、盆供養や慰霊祭など 寺院の行事で奉詠します。
また 本山主催の奉詠大会などにも出場します。

御詠歌とは

日本の心 禅の心 妙なる心 情(こころ)に響く音調(しらべ)

御詠歌とは「讃仏歌」とも言われ、鈴(れい)と鉦(しょう)の美しい響きとともに仏さまとその教えを讃えてお唱えするものです。お経の内容をわかりやすく表現したもののなので、真心を込めてお唱えすれば、仏さまやご先祖さまに対するご供養にもなります。

また、仏教や禅の深く尊い教えが、誰にもわかる親しみやすい言葉で表されていますので、お唱えするうちに仏さまの教えに自然に親しむことが出来ます。

「仏教や禅は難しくてわからない」と思っている方でも、御詠歌に親しむことによって、様々な仏の教えを知ることができるでしょう。

御詠歌は、鈴(れい)や鉦(しょう)を鳴らしながら、教本(楽譜)により、ゆっくり詠唱します。

- ◎習い始めは誰もが戸惑いますが、一同で合唱しますので上達間違いなしです。
- ◎外部の専任講師(僧侶)により、優しく丁寧にご指導いただきます。
- ◎個人の宗派や男女・年齢は問いません。

年初めの決断を… お待ちしております

【 主な奉詠実績 】

- 4年10月 京都 妙心寺「第72回全国奉詠本山大会」
- 10月 甲府 円光院 山梨教区合同奉詠会
- 8月 東円寺 合同奉詠会
- 3年10月 静岡 新定院 合同奉詠会
- 1年10月 岐阜 長良川国際会議場
「第69回全国奉詠岐阜大会」



承天寺本堂にて



是非一度見学に来てみませんか？
 会員さんの詠唱をお聞きになりませんか？
 皆様お誘いあわせの上、情(こころ)に響く音調
 (しらべ)を体験して下さい。

詳細・お問合せは **承天寺** Tel0555-84-2356